

第三者評価結果（小規模住居型児童養育事業）

種別：	小規模住居型児童養育事業
-----	--------------

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 あいおらいと

②施設名等

名称：	ファミリーホームマザーズパーム
施設長氏名：	小原 義人
定員：	6名
所在地(都道府県)：	鳥取県

③実施調査日

開始日	2017/10/5
評価結果確定日	2018/2/15

④総評

□概要

ファミリーホーム「マザーズパーム」は、鳥取県西部の山陰本線大山口駅から徒歩10分程度の集落にあります。南に霊峰大山、北には日本海が一望できる自然豊かな環境にあります。

マザーズパームは、平成23年4月に開設した、県内初のファミリーホームです。元ホーム長は、これまで児童養護施設に勤務しながら、施設を退所した子どもたちの養育を里親として行ってきました。今年度からホーム長が交替し、元ホーム長が養育者となり、新たなホーム長のもと、地域に溶け込んだ家庭的養育をめざし、日々子どもたちと向き合っています。

<評価の高い点>

1 地域に溶け込んだ暮らし

ホーム長は、地域住民として地域の自治会活動にも参加しておられます。地域の方が子どもの登下校の様子をホームに伝えるなど、地域から関心を持たれ、あたたかく見守られています。地域の方が気軽にホームに立ち寄るなど、地域に理解されたファミリーホームとして存在しています。

苦情解決の第三者委員は、小学校校長、民生児童委員、近隣に居住する警察官が就任されており、子どもたちにごく身近な方ばかりです。

また、農業がさかんな地域でもあり、子どもたちは季節の野菜の収穫や玄米の精米などを経験したり、頂いた食材の生産者を知ったりと、地域に溶け込んで暮らしています。

2 保護者への積極的な支援

ホームから保護者には、日頃から子どもの生活の様子が細やかに伝えられ、ホームへの訪問を促したり、子どもを同伴して保護者を訪ねたりするなど、保護者との関係の構築に積極的に取り組まれています。

また、保護者自身の生活の支援も行われ、これらのことによって親子関係の継続や、親としての自覚や成長などが促され、親子再統合に向けての支援が行われています。

3 退所後の支援

ホームの退所に当たっては、就職先や進学先への見学の同行や必要な手続きを一緒に行い、保護者の支援が得られない場合は、必要に応じてアパートや就職の保証人となるなどの支援が行われています。

退所後も、家庭訪問をしたり勤務状況などを就職先と共有したりするなど、継続的な支援が行われています。現在、ホーム周辺での就農をめざす退所者を施設内に居住させ、自立に向けた支援が行われています。

<改善を求められる点>

1 中長期計画の策定

今回の評価を機に計画が作成されました。今後、「新しい社会的養育ビジョン」（案）で示された家庭養育への動向などを参考にし、中長期計画の策定が求められます。また、次年度は、今年度の課題などを振り返りより具体的な単年度計画の策定が期待されます。

2 職員の教育・研修について

ファミリーホームに特化した研修については、全国の研究大会のみとなっています。県内では里親支援機関による里親との合同研修に参加しています。今後、受託している子どもの特徴や障がい等の理解をはかるための研修の参加が望まれます。

⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

ファミリーホームに求められるものは、より家庭に近い環境であると考えられます。しかし、そこで働く職員は、実の親ではなくあくまでも代替者でしかありません。評価の高い点として挙げられた部分を今後も大切にし、より家庭に近い環境の中で子どもの養育をしていきたいと考えています。

また、改善を求められる点として挙げられた部分につきましては、養育者として子どもたちに安心して安全な生活環境を提供できるよう、職員の資質向上のための研修への参加、中長期的な計画、アセスメントの作成に努めていきたいと考えています

第三者評価結果（小規模住居型児童養育事業）

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者 評価結果
①	理念が明文化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念が文書（事業計画等のホーム内文書や広報誌、パンフレット等）に記載されている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念から、ホームが実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえたホームの使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 基本方針が文書（事業計画等のホーム内文書や広報誌、パンフレット等）に記載されている。	○
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、ホームの理念との整合性が確保されている。	○
<input type="checkbox"/> 基本方針は、養育者らの行動規範となるよう具体的な内容となっている。		○
<p>（特に評価が高い点、改善が求められる点）</p> <p>理念はパンフレットに記載されており、「一般家庭として地域に溶け込んだ養育」として明文化されています。</p> <p>基本方針は、「生活を共にする家族・地域の人とのかかわりが多くのことを学ぶ機会となり豊かな人として成長をめざす」等、養育者らの行動規範となるよう具体的な内容となっています。</p>		

I-1 理念・基本方針

(2) 理念や基本方針が周知されている。		第三者 評価結果
①	理念や基本方針が職員に周知されている。	b
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針を会議や研修において説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知を目的とした実践テーマを設定して会議等で討議の上で実行している。	
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	○
②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針をわかりやすく説明した資料を作成する等、より理解しやすいような工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針を利用者や家族等に資料をもとに説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	
<p>（特に評価が高い点、改善が求められる点）</p> <p>理念や基本方針は、職員に対しては会議等で伝えられています。また、子どもや保護者には、入所時にパンフレットで説明されます。パンフレットは、適宜見直しが行われており、イラストや背景の変更を含め子どもや保護者にもわかりやすく工夫されています。</p>		

I-2 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	中・長期計画が策定されている。	c
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 実施する福祉サービスの内容や、ホームにおける体制や設備の整備、人材育成等の現状分析を行い、課題や問題点を明らかにしている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、課題や問題点の解決に向けた具体的な内容になっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画に基づく取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	
②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	c
	<input type="checkbox"/> 事業計画には、中・長期計画の内容を反映した各年度における事業内容が具体的に示されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画は、実行可能かどうか、数値目標等を設定することによって実施状況の評価を行えるかどうかについて配慮がなされている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	
<p>（特に評価が高い点、改善が求められる点）</p> <p>今回の評価に向け、中・長期の事業計画が策定されました。策定の視点として①子どもの入退所の動向、②生活環境の確保、③理念や基本方針に向けた取り組みや組織の在り方などについてです。今後、「新しい社会的養育ビジョン」（案）で示された養育支援等の内容を加味しながら、計画の充実や定期的な見直しが行われることを期待します。</p>		

I-2 事業計画の策定

(2) 事業計画が適切に策定されている。		第三者 評価結果
①	事業計画の策定が組織的に行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 年度終了時はおも、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価の結果に基づいて各計画の見直しを行っている。	○
②	事業計画が職員に周知されている。	a
	<input type="checkbox"/> 各計画を会議や研修において説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 各計画をわかりやすく説明した資料を作成する等によって、より理解しやすいような工夫を行っている。	○
③	事業計画が利用者等に周知されている。	b
	<input type="checkbox"/> 利用者・家族等向けに各計画をわかりやすく説明した資料を作成する等によって、より理解しやすいような工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 各計画について利用者・家族等に説明している。	○
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 単年度の事業計画は、年度末に次年度の予算執行計画とともに職員間で話し合っ作成されます。その後の進捗管理は、年2回の児童相談所による監査の時期に併せて実施しています。 子どもや家族へは、受託時に年間の流れや行事などと一緒にパンフレットを用いて説明しています。		

I-3 ホーム長（管理者）の責任とリーダーシップ

(1) ホーム長（管理者）の責任が明確にされている。		第三者 評価結果	
①	ホーム長（管理者）自らの役割と責任を他の職員に対して表明している。	a	
	<input type="checkbox"/> ホーム長（管理者）は、自らの役割と責任について、利用者、養育者らに表明している。	○	
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事（災害、事故等）におけるホーム長（管理者）の役割と責任について、明確化されている。	○	
②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	
	<input type="checkbox"/> ホーム長（管理者）は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○	
	<input type="checkbox"/> ホーム長（管理者）は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、リスト化する等の取組を行っている。	○	
③	<input type="checkbox"/> ホーム長（管理者）は、養育者らに対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○	
	(特に評価が高い点、改善が求められる点) ホーム長は、今年度養育者からホーム長となり、事務分担表も見直され、自らの役割と責任を明確にしています。ホーム全体の運営等についても、ホーム長が主体となりその都度話し合われています。 法令遵守などについては、ファミリーホームの全国研究大会や関係する研修会に参加し研鑽に努めています。新任ホーム長を中心として、経営面も含めたよりよいホームの運営などの取組みが期待されます。		

I-3 ホーム長（管理者）の責任とリーダーシップ

(2) ホーム長（管理者）のリーダーシップが発揮されている。		第三者 評価結果
①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> ホーム長（管理者）は、実施する福祉サービスの質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> ホーム長（管理者）は、福祉サービスの質の向上について、養育者らの意見を取り込めるための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> ホーム長（管理者）は、福祉サービスの質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
②	<input type="checkbox"/> ホーム長（管理者）は、福祉サービスの質の向上についてホーム内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> ホーム長（管理者）は、経営や業務の効率化と改善に向けて、人事、労務、財務等の面から分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> ホーム長（管理者）は、ホームの理念や基本方針の実現に向けて、養育者らの働きやすい環境整備等について、具体的に取り組んでいる。	○
③	<input type="checkbox"/> ホーム長（管理者）は、上記について、ホーム内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> ホーム長（管理者）は、経営や業務の効率化や改善のためにホーム内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ホーム長は養育・支援について養育者と話し合い、自立支援計画について定期的に見直しを行っています。運営の課題については、県内の他のホームとも情報交換をしながら対応しています。 ホーム長は、職員会議や日頃の話し合いを通して、何でも気兼ねなく発言できる雰囲気となるよう努めています。今後さらに、経営や業務の効率化のための情報収集や体制づくりに向けた取り組みを期待します。		

II 組織の運営管理
II-1 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果
①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 利用者数・利用者像等について、ホームが位置する地域での特徴・変化等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 福祉サービスのニーズ、潜在的利用者に関するデータ等を収集している。	
②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 定期的にサービスのコスト分析やサービス利用者の推移、利用率等の分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善に向けた取組が、中・長期計画や各年度の事業計画に反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、養育者らに周知している。	○
③	外部監査が実施されている。	c
	<input type="checkbox"/> 外部監査の結果や、公認会計士等による指導や指摘事項に基づいて、経営改善を実施している。	
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ファミリーホーム全国研究大会などに参加し福祉の動向を把握するほか、地域のニーズや施設入所などの推移については、児童相談所と情報交換を行い把握に努めています。 今後、中・長期計画に反映することも含め充実した計画の策定に期待します。		

II-2 人材の確保・養成

(1) 人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 必要な人材や人員体制に関する基本的な考え方や、人事管理に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 社会福祉士等の有資格職員の配置等、必要な人材や人員体制について具体的なプランがある。	
	<input type="checkbox"/> プランに基づいた人事管理が実施されている。	
②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	c
	<input type="checkbox"/> 人事考課の目的や効果を正しく理解している。	○
	<input type="checkbox"/> 考課基準を養育者らに明確に示すことや、結果の養育者らへのフィードバック等の具体的な方策によって客観性や透明性の確保が図られている。	
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 人事考課については少人数でもあり現在策定の予定はありません。職員は保育士や里親の資格を有する職員で構成されています。 ホームの理念として「通常の親子ような関係」を掲げており、この理念を実現する人材育成をめざしています。 今後、将来的なことも視野に入れ、養育者の成長につながる人材育成などの取り組みが期待されます。		

II-2 人材の確保・養成

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		第三者 評価結果
①	職員の就業状況や意向を把握し、必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b
	<input type="checkbox"/> 養育者らの有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した養育者らの意向・意見や就業状況チェックの結果を、分析・検討している。	○
	<input type="checkbox"/> 分析した結果について、改善策を検討する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的なプランに反映し実行している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に養育者らとの個別面接の機会を設ける等、養育者らが相談しやすいようなホーム内の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 希望があれば養育者らが相談できるように、カウンセラーや専門家を確保している。	
②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 養育者らの希望の聴取等をもとに、福利厚生センターへの加入等、総合的な福利厚生事業を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者らの悩み相談窓口を設置する等、解決に向けた体制が整備されている。	
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 養育者の勤務や有給休暇などはホーム長が管理し、定期的にチェックが行われています。休暇等については、出来る限り職員の要望に応じています。 職員の心身の健康管理を含め、福利厚生に関連した関係機関の制度等を活用されることを期待します。		

II-2 人材の確保・養成

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		第三者 評価結果
①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	c
	<input type="checkbox"/> ホームが目指す福祉サービスを実施するために、基本方針や中・長期計画の中に、ホームが養育者らに求める基本的姿勢や意識を明示している。 <input type="checkbox"/> 現在実施している福祉サービスの内容や目標を踏まえて、基本方針や中・長期計画の中に、ホームが養育者らに求める専門技術や専門資格を明示している。	○
②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され、計画に基づいて具体的な取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 養育者一人ひとりについて、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定されている。	
	<input type="checkbox"/> 個別の養育者の技術水準、知識、専門資格の必要性などを把握している。 <input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画に基づき、実際に計画に従った教育・研修が実施されている。	○
③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 研修を終了した養育者は、報告レポートを作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 研修を終了した養育者が、研修内容を発表する機会を設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 報告レポートや発表、当該養育者らの研修後の業務等によって、研修成果に関する評価・分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価・分析された結果を次の研修計画に反映している。 <input type="checkbox"/> 評価・分析された結果に基づいて、研修内容やカリキュラムの見直しを行っている。	
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 計画の中で基本的姿勢や体制に向けた取り組みを明確にすることが求められます。研修等は、今年度は職員から意見を聞き外部の有識者を交え具体的な方針が協議されました。参加した研修の報告は、その都度行われています。 今後は、職員の質の向上に向けた検討や受託児童の特徴に合わせ、ホームが必要とする研修等を企画し、中長期計画へ予算を含め反映されることが期待されます。		

II-2 人材の確保・養成

(4) 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者 評価結果
①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	c
	<input type="checkbox"/> 実習生の受入れに関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生の受入れについて、受入れについての連絡窓口、事前説明、オリエンテーションの実施方法等の項目が記載されたマニュアルが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 受入れにあたっては、学校との覚書を取り交わす等によって、実習における責任体制を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 実習指導者に対する研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 実習内容全般を計画的に学べるようなプログラムを用意している。 <input type="checkbox"/> 学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 実習生の受入れに関しては、子どもの事情などから困難な実情があります。その中で、施設見学など可能な範囲で受入れられています。今後、実習受入れについては社会的な効果も視野に入れ、学校などと十分に協議し無理のない範囲での取組が期待されます。		

II-3 安全管理

(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果
①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	b
	<input type="checkbox"/> 管理者は利用者の安全確保の取組について、リーダーシップを発揮している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に安全確保に関する検討会を開催している。	○
	<input type="checkbox"/> リスクの種類別に、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 事故発生対応マニュアル等を作成し養育者らに周知している。	○
②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。	○
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
	<input type="checkbox"/> 利用者および養育者らの安否確認の方法が決められ、養育者らに周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類などの備蓄リストを作成し、備蓄を進めている。 <input type="checkbox"/> 地元の消防署、警察、自治会などと連携するなど、工夫して訓練を実施している。	○
③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b
	<input type="checkbox"/> 利用者の安全を脅かす事例の収集を、その仕組みを整備した上で実施している。	
	<input type="checkbox"/> 収集した事例について、養育者らの参画のもとで発生要因を分析し、未然防止策を検討している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者らに対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。 <input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	○
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 緊急時における子どもの安全確保のための各種マニュアルが整備され、定期的に避難訓練等が実施されています。ホームの存在は、地元の駐在所、自治会、自衛消防組織に周知されており、ホーム長も自治会や自営消防組織の一員となっています。また、子どものかけこみ場所としての役割を果たしています。		

II-4 地域との交流と連携

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	○
	<input type="checkbox"/> 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で利用者に提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 利用者が地域の行事や活動に参加する際、必要があれば養育者らやボランティアが援助を行う体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> ホームや利用者への理解を得るために、地域の人々と利用者との交流の機会を設けている。	○
②	事業者が有する機能を地域に還元している。	b
	<input type="checkbox"/> 専門的な技術講習会や研修会、地域住民の生活に役立つ講演会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談窓口、支援サークル等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。	○
③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	c
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>地域とのかかわりは、子供会に加入し、歓送迎会、夏のレクリエーション、運動会等の行事に参加しています。また、ボランティアの方などとの関わりは、一緒に遊びに行ったり、ホームのイベントに参加したりするなど交流が行われています。</p> <p>地域とホームの交流は、日常生活の中で自然な形でされており、子どもたちにとっても社会性を育むよい機会となっています。</p> <p>今後、ボランティア等との交流時には、子どもに関する情報の守秘について注意事項等を記載した書面を作成するなど、子どもの安全への配慮が期待されます。</p>		

II-4 地域との交流と連携

(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者 評価結果
①	必要な社会資源を明確にしている。	a
	<input type="checkbox"/> 個々の利用者の状況に対応できる社会資源を明示し、当該地域の関係機関・団体について、その機関・団体との連携の必要性を含めたリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者らの間で情報の共有化が図られている。	○
②	関係機関等との連携が適切に行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を積極的に行っている。	○
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>必要な関係機関のリストは掲示しており、日常的に連絡が行われています。関係機関等とは定期的に連絡会が開催され、問題等があればその都度解決や対応について協議されています。</p>		

II-4 地域との交流と連携

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者 評価結果
①	地域の福祉ニーズを把握している。	b
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体との連携に基づき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員、教育機関、警察等と定期的な会議を開催する等によって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○
②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズに基づいて実施した具体的な事業・活動がある。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズに基づいた具体的な事業・活動を、中・長期計画や事業計画の中に明示している。	
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>学校や地域住民との交流を通じて、具体的な情報を得ています。時には相談として応じることもあります。</p>		

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、利用者を尊重した福祉サービスの実施について明示している。 <input type="checkbox"/> 利用者を尊重したサービス提供に関する基本姿勢が、個々のサービスの標準的な実施方法等に反映されている。 <input type="checkbox"/> 利用者尊重や基本的人権への配慮について、ホームで勉強会・研修を実施している。 <input type="checkbox"/> 虐待防止について養育者らに周知徹底している。	b ○ ○ ○
②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。 <input type="checkbox"/> 利用者のプライバシー保護について、規程・マニュアル等の整備や、施設・設備面での工夫等、ホームとして具体的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 利用者のプライバシー保護に関する基本的知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・意識、利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等について、養育者らに研修を実施している。 <input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等に基づいたサービスが実施されている。	b ○ ○
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 子どもを尊重した養育・支援については、運営規定に明記されています。ホームに有識者を招いて子どもの尊重や基本的人権への配慮について、また、虐待防止の研修会を実施しました。プライバシー保護についてのマニュアルが整備され、年齢や性別により部屋の配置や入浴時間等について配慮しています。		

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

(2) 利用者満足の上昇に努めている。		第三者 評価結果
①	利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 利用者満足に関する調査を定期的に行っている。 <input type="checkbox"/> 利用者満足を把握する目的で、利用者への個別の相談面接や聴取、グループでの話し合いを定期的に行っている。 <input type="checkbox"/> 利用者満足に関する調査の担当を決めることや、把握した結果を分析・検討するために、利用者参画のもとで検討の場を設けること等が行われている。 <input type="checkbox"/> 分析・検討の結果に基づいて具体的な改善を行っている。	b ○ ○ ○
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 子どもの満足に関する調査は行っていません。子どもの意見等については、日々の生活で聴きとっています。子どもの年齢により、定期的な子ども会議の開催などを工夫しています。子どもの生活の実情や要望については、児童相談所の職員の面接結果なども活用しています。		

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		第三者 評価結果
①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。 <input type="checkbox"/> 利用者が、複数の相談方法や相談相手の中から自由に選べることを、わかりやすく説明した文書を作成している。 <input type="checkbox"/> 利用者や家族等に、その文書を配布したり、わかりやすい場所に掲示している。 <input type="checkbox"/> 相談や意見を述べやすいようなスペースに配慮している。	a ○ ○
②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 <input type="checkbox"/> 苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）を整備している。 <input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みを説明した資料を利用者等に配布、説明しているとともに、わかりやすく説明した掲示物を掲示している。 <input type="checkbox"/> 利用者や家族に対して、苦情記入カードの配布や匿名アンケート実施など利用者や家族が苦情を申し出やすい工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 苦情を受けつけて解決を図った記録が適切に保管されている。 <input type="checkbox"/> 苦情への検討内容や対応策を、利用者や家族等に必ずフィードバックしている。 <input type="checkbox"/> 苦情を申し出た利用者や家族等に配慮した上で、苦情内容及び解決結果等を公表している。	b ○ ○ ○ ○ ○
③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。 <input type="checkbox"/> 意見や提案を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について規定したマニュアルを整備している。 <input type="checkbox"/> 対応マニュアルに沿った取組がなされており、意見や提案のあった利用者には、検討に時間がかかる場合も状況を速やかに報告している。 <input type="checkbox"/> 対応マニュアルの定期的な見直しを行っている。 <input type="checkbox"/> 意見等を福祉サービスの改善に反映している。	b ○ ○ ○
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 苦情解決のマニュアルが整備され、第三者委員は小学校校長、民生児童委員、近隣に居住する警察官が就任しています。民生委員はホームを頻りに訪問し、子どもたちとの交流もあります。 子どもからの意見は、意見箱を設置しています。普段子どもから直接聞きとった意見を含め、職員間で共有し対応が検討されます。		

Ⅲ-2 サービスの質の確保

(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者 評価結果
①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	b
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準に基づいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
	<input type="checkbox"/> 評価に関する担当者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、ホームとして定められ実行されている。	○
②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	b
	<input type="checkbox"/> 養育者らの参画により評価結果の分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 分析した結果やそれに基づく課題が文書化されている。	
	<input type="checkbox"/> 養育者らの間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、養育者らの参画のもとで改善策や改善実施計画を策定する仕組みがある。	
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善実施計画の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて計画の見直しを行っている。	
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) これまでは、独自の評価表による自己評価を行っていました。従来からの質の向上に向けた前向きな取組が高く評価されます。今回の受審により明確になった課題についての今後の改善計画の策定や継続的な取組が期待されます。</p>		

Ⅲ-2 サービスの質の確保

(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	b
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって養育者らに周知徹底するための方策を講じている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、利用者尊重やプライバシー保護の姿勢が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法に基づいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	○
②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
	<input type="checkbox"/> サービスの標準的な実施方法の見直しに関する時期やその方法がホームで定められている。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しにあたり、養育者らや利用者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 標準的な支援の実施については、支援マニュアルに基づいて実施され、日々の日誌や引き継ぎで確認されます。</p>		

Ⅲ-2 サービスの質の確保

(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		第三者 評価結果
①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
	<input type="checkbox"/> サービス実施計画に基づくサービスが実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する者によって記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や養育者らへの指導などの工夫をしている。	○
②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 利用者の記録の保管、保存、廃棄に関する規程等を定めている。	
	<input type="checkbox"/> 利用者や家族等から情報の開示を求められた場合に関する規程を定めている。	
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護と情報開示の観点から、養育者らに対し教育や研修が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 養育者らは、個人情報保護法を理解し、遵守している。	○
③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a
	<input type="checkbox"/> ホームにおける情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的として、ケアカンファレンスの定期的な開催等の取組がなされている。	○
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 記録は施錠付きロッカーに保管され永久保存となっています。情報開示については、必要なときに児童相談所と相談しながら対応しています。記録については、今後、保存期間や方法等について検討を行うことが期待されます。</p>		

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者 評価結果
①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	b
	<input type="checkbox"/> 理念や、実施する福祉サービスの内容を紹介した資料を、公共施設等多数の人が手にすることができる場所に置いている。	
	<input type="checkbox"/> ホームを紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 見学、体験入所、一日利用等の希望に対応している。	○
②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
	<input type="checkbox"/> サービス開始時に、サービス内容や料金等が具体的に記載された重要事項説明書等の資料を用意して、利用者説明している。	
	<input type="checkbox"/> 説明にあたっては、利用者や家族等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> サービス開始時には、サービスの内容や料金等について、利用者や家族等の同意を得た上でその内容を書面で残している。	
	<input type="checkbox"/> 重要事項説明書等の資料の内容は、利用者にもわかりやすいように工夫している。	○
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ファミリーホームの所在は地域でオープンになっています。受託予定児童のホームの見学は随時受け入れ、居室や施設設備について説明しています。		

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		第三者 評価結果
①	事業者の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 他のホーム等や地域・家庭への移行にあたり、サービスの継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> サービス終了後も、利用者や家族等が相談を希望した場合に、ホームとして相談に応じるなどの対応をすることを明示している。	○
	<input type="checkbox"/> サービス終了時に、利用者や家族等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 措置変更や退所に際し、これまでの生活の様子や、今後の生活に必要なことなどについて引継書を作成しています。退所の場合は、次の支援機関や勤務先などと連携し、いつでも相談できることが伝えられています。子どもや保護者についても、引き続き支援が行われています。また、必要があればアパート等契約の保証人となっています。		

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

(1) 利用者のアセスメントが行われている。		第三者 評価結果
①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 利用者の身体状況や生活状況等を、ホームが定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係者（ホーム以外の関係者も）が参加して、アセスメントに関する協議を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの具体的なニーズが明示されている。	○
(特に評価が高い点、改善が求められる点) アセスメントは毎月行われ、ケース記録の所見に記載され、状況が変化した時には見直します。支援の見直しについては、必要に応じて児童相談所や学校等と協議を行います。		

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		第三者 評価結果
①	サービス実施計画を適切に策定している。	b
	<input type="checkbox"/> サービス実施計画策定の責任者を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> サービス実施計画を策定するための養育者ら（ホーム以外の関係者も）の合議、利用者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> サービス実施計画どおりにサービスが行われていることを確認する仕組みが構築されるとともに、機能している。	
②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> サービス実施計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討の方法、利用者の意向把握と同意を得るための手順等について組織的な仕組みを定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更したサービス実施計画の内容を、養育者らに周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> サービス実施計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 実施計画の策定は職員間で協議され作成しています。計画の見直しは年2回実施しています。		

第三者評価結果（小規模住居型児童養育事業）

A-1 利用者の尊重

(1) 利用者の尊重		第三者 評価結果
①	<p>子ども自身が自分たちの生活全般について自主的に考え、ホームにおける生活改善ができるよう取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>生活全般について、子ども自身による自主的・主体的な取組を認めている。</p> <p><input type="checkbox"/>これらの取組は、子どもが問題や課題について主体的に検討し、その上で実行、管理するといった内容を含んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの自己表現力、自律性、責任感などが育つよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>子ども自身による生活改善にむけた取組が実現できるよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもが自主的・主体的に導き出した要望等について可能な限り応えている。</p>	a
②	<p>ホームでの生活及び援助について事前に説明し、子どもが主体的に決定できるよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>あらかじめ、子どもにホームでの生活について十分説明している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもが主体的に決定できるように必要な情報を提供している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの発達段階や能力に応じ、自己決定できる力量の形成に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>養育者ら全員が子どもの自己決定の重要性について十分認識している。</p>	b
③	<p>多くの生活体験を積ませる中で、子どもがその問題や事態の自主的な解決等を通して、健全な自己の成長や問題解決力を形成できるよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>多種多様な経験を積ませるような機会（自然体験等）や、豊かな情操が育まれるような活動がホームでの生活に組み込まれている。</p> <p><input type="checkbox"/>つまずきや失敗の体験も大切にしながら自主的な問題解決等により自己肯定感等を形成し、たえず自己を向上発展していく態度が身につけられるよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>問題解決にあたり、謙虚に他から学び、他と協力できる力量や態度が形成できるよう支援している。</p>	b
④	<p>多くの人たちとのふれあいを通し、子どもが人格の尊厳を理解し、自他の権利を尊重し共生できるよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>基本的な信頼感を獲得するなど良好な人間関係を築くために、養育者らと子どもとが個別的にふれあう時間を重要視している。</p> <p><input type="checkbox"/>喧嘩など子どもの間でのトラブルが生じた時、基本的には子ども同士で関係を修復できるよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>ホーム以外の多くの人たちとふれあう機会を可能な限り実行している。</p>	a
⑤	<p>子どもの発達に応じて、本人に出生や生い立ち、家族の状況等を適切に知らせている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの発達段階に応じて、可能な限り事実を伝えようと努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>事実を伝える場合は、子どもの発達段階や個別の事情に応じて慎重に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/>伝え方や内容などについて協議し、養育者らで共有している。</p> <p><input type="checkbox"/>事実を伝えた後、適切なフォローを行っている。</p>	a
⑥	<p>被措置児童等虐待防止と早期発見に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>被措置児童等虐待の防止について、具体的な例を示し、徹底している。</p> <p><input type="checkbox"/>被措置児童等虐待の防止について、具体的な例を示し、子どもに周知している。</p> <p><input type="checkbox"/>被措置児童等虐待に迅速に対応できるよう、子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。</p> <p><input type="checkbox"/>被措置児童等虐待の防止を徹底するため、日常的に話しあい、行われていないことを確認している。</p> <p><input type="checkbox"/>被措置児童等虐待が起りやすい状況や場面について、研修や話しあいを行い、これによらない支援技術を習得できるようにしている。</p> <p><input type="checkbox"/>被措置児童等虐待の防止の視点から、ホーム内に第三者の視点が入るよう配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもが自分自身を守るための知識、具体的方法について学習する機会を設けている。</p>	b
⑦	<p>子どもや保護者の思想や信教の自由は、他の子どもや保護者の権利を妨げない範囲で保障している。</p> <p><input type="checkbox"/>ホームにおいて宗教活動を強要していない。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもと保護者の個別的な宗教活動は尊重している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもや保護者の宗教活動において、他の子どもや保護者の権利を妨げないよう配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/>保護者の宗教活動によってその子どもの権利が損なわれないよう配慮している。</p>	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 日頃から子どもの様子の変化に注意をしています。民生児童委員の訪問や事務等のボランティアによる観察も参考にしています。 子どもの生い立ちなどは、児童相談所とも話し合い、時期を見ながら適時子どもに伝えていきます。 宗教については基本的な制約はありません。</p>		

A-2 日常生活支援サービス

2- (1) 支援の基本		第三者 評価結果
①	子どもと養育者らの信頼関係を構築し、個々の子どもの発達段階や課題に考慮し援助している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもに対する受容的・支持的関わりを心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 個々の子どもの気持ちを汲み取っている。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者らと子どもが個別にふれあう時間を確保している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもからの相談を引き出せるように働きかけを意識的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもに問題行動等があった場合、単にその行為を取りあげて叱責するのではなく、背景にある心理的課題の把握に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個々の子どもの状況に応じて、日々の生活が組み立てられるようになっている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの生活を束縛するような管理や操作をしていない。	○
②	子どもの協調性を養い、社会的ルールを尊重する気持ちを育てている。	a
	<input type="checkbox"/> 養育者らは、普段のふるまいや態度で模範を示している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもに、ホーム生活・社会生活の規範等守るべきルール、約束ごとが理解できるよう説明し、責任ある行動をとるよう指導している。	○
	<input type="checkbox"/> ホーム生活を通し、他者への心づかいや配慮する心が育まれるよう援助している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域社会への積極的参加を図る等、社会的ルールを習得する機会を設けている。	○
<input type="checkbox"/> ホーム生活のルール、約束ごとについては、話し合いの場が設定されており、必要に応じて変更している。	○	
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 日々の生活のなかで、子どもと職員が理念や指針にある子どもへの成長を見守るなかで、おのずと信頼関係が構築されています。また、社会で必要なルールや譲り合うこと等が自然と身に付けられる支援がなされています。</p>		

2- (2) 食生活		第三者 評価結果
①	食事をおいしく楽しく食べられるよう工夫し、栄養管理にも配慮している。	a
	<input type="checkbox"/> 食事場所は明るく楽しい雰囲気、常に清潔が保たれている。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者らや他の子どもと楽しく対話ができる場所となるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 陶器の食器等を使用したり、盛りつけやテーブルの飾りつけの工夫など、食事を美味しく食べられるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 幼児など子どもの個人差や子どもの体調、疾病、アレルギー等に配慮した食事を提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 好き嫌いをなくす工夫や偏食指導については、無理がないよう配慮し実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 定例的に子どもの嗜好や栄養摂取量を把握し、献立に反映させている。	○
<input type="checkbox"/> 研修会や講習会に参加し、技術の向上に努めている。	○	
②	発達段階に応じて食習慣を習得するための支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 箸、ナイフ・フォーク等食器の使い方や食事のマナーが習得できるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 食習慣の習得を、無理なく楽しみながら身に付けられるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 基礎的な調理技術を習得できるよう、食事やおやつを作る機会を設けている。	○
	<input type="checkbox"/> テーブル拭き、食器洗い、食器消毒、残飯処理など食後の後片づけの習慣が習得できるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 外食の機会を設け、ホーム外での食事を体験させている。	○
	<input type="checkbox"/> 食品分類やおやつの摂り方等、栄養についての正しい知識を教えている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの希望に沿った食事の提供（外食なども含む）をしている。	○	
③	子どもの生活時間にあわせて食事の時間を設定している。	a
	<input type="checkbox"/> 朝食、昼食、夕食それぞれの食事の時間が子どもの基本的な生活習慣の確立につながるよう設定している。	○
	<input type="checkbox"/> クラブ活動等子どもの生活時間に応じて、食事の時間以外でも個別に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 電子レンジや保温庫、保冷庫等を用意し、食事の時間以外にもおいしく食べられるよう配慮している。	○
<input type="checkbox"/> 無理なく楽しみながら食事ができるよう、年齢や個人差に応じ食事の時間を配慮している。	○	
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 食事は、献立に関連した話題やその日の出来事の話をするなど、食事の時間が楽しくなるよう努めています。食事の作法等は自立に向けたスキルとして重視され、ていねいに支援されています。 また、野菜の収穫や玄米の精米等を経験させたり、近隣からいただいた食材については、生産者を知らせるなど食育に心がけています。また、食事に偏りのある子どもについては、一緒に調理を工夫するなど無理なく改善するよう工夫されています。</p>		

2 - (3) 衣生活		第三者 評価結果	
①	衣服は清潔で、体に合い、季節にあったものを提供している。	a	
	<input type="checkbox"/> 常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものが着用されるよう提供している。	○	
	<input type="checkbox"/> 年齢に応じて、TPOに合わせた服装ができるよう配慮している。	○	
	<input type="checkbox"/> 毎日取り替える下着や、汚れた時などに着替えることができる衣類が十分に確保されている。	○	
	<input type="checkbox"/> 生活場面や活動場面に応じて着替えることのできる衣類を提供している。	○	
	②	子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるよう支援している。	b
		<input type="checkbox"/> 気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣習慣を習得させている。	○
		<input type="checkbox"/> 個々の収納スペースを確保するなど、「自分の服である」という所有感を持てるようにしている。	○
		<input type="checkbox"/> 発達段階や好みに合わせて子ども自身が衣服を購入できる機会を設けている。	○
		<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、衣服の着脱、整理整頓ができるよう支援している。	○
<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、選択、アイロンかけ、補修等衣服の自己管理ができるよう支援している。		○	
<input type="checkbox"/> 衣服を通じて子どもが適切な自己表現ができるように支援している。		○	
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 子どもの成長に合わせた衣服が季節に応じて購入されます。衣服は一緒に買いに行き、子どもの好みなどを聞いて選ばせています。高校生は自分で買いに行ったり、洗濯や整理等衣服の管理が自分で出来るよう支援をしています。			

2 - (4) 住生活		第三者 評価結果
①	住居全体が生活の場としての安全性や快適さを配慮したものになっている。	a
	<input type="checkbox"/> トイレ、洗面所等は使いやすいよう配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、冷暖房設備を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが私物を収納できるよう個々にタンス等を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 日常的な清掃や大掃除を行い、軽度な修繕を迅速に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> くつろげる空間を確保するよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、いつでも入浴やシャワーが利用できるようにしている。	○
②	発達段階に応じて居室等の整理整頓、掃除等の習慣が定着するよう支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 居室の整理・整頓、掃除の習慣を身につけられるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 洗濯、ふとん干し、各居室のごみ処理の習慣を身につけられるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 戸締り、施錠の習慣を身につけられるように支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 住居の軽度な破損について、簡単な修理を体験できるように配慮している。	○
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 年齢や性別に応じ安全性や快適さが配慮されています。皆が集まる部屋には、子どもが安心して過ごせるよう工夫がされ、落ち着ける空間となっています。小学校2年生から手伝い当番があり、年齢に応じた住生活の自立に向けた支援が行われています。		

2 - (5) 衛生管理、健康管理、安全管理		第三者 評価結果
①	医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、適切に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 健康上特別な配慮を要する子どもについては、医療機関と連携して、日頃から注意深く観察している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者らは医療や健康に関して学習する機会を設け、知識を深める努力をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬を確かめている。	○
	<input type="checkbox"/> 受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう説明している。	○
②	発達段階に応じ、身体の健康を自己管理できるよう支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 幼児へは、常に良好な健康状態を保持できるよう、睡眠、食事摂取、排泄等の状況を養育者がきちんと把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 排泄後の始末と手洗いの指導をしている。	○
	<input type="checkbox"/> うがいや手洗いの習慣を養うよう指導している。	○
	<input type="checkbox"/> 寝具の日光消毒や衣類などを清潔に保つなど、健康管理ができるよう指導している。	○
	<input type="checkbox"/> 洗面、整髪、ひげそり、歯磨き、爪きり等身だしなみについて、発達に応じて自力行えるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 定例的に理美容をするよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じ、危険物の取扱いや危険な物・場所・行為から身を守ることができるよう指導している。	○
	<input type="checkbox"/> 交通事故を防止するため、交通ルール等について日頃から教えている。	○
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 近くの小児科医院をかかりつけ医とし、専門的な医療は大学病院や療育センターを受診するなど適切に医療を利用しています。身体の清潔については、年齢に応じて支援し、生活習慣の確立をめざし、1日が快適に過ごすことができるよう支援しています。 交通安全などについては、子どもの登下校を見守る地域の「みまもり隊」の方々などから直接指導を受けるなど、ホームだけでなく地域全体からも見守られ、情報も入るようになっています。		

2- (6) 問題行動に対する対応		第三者 評価結果
①	ホーム内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないようホーム全体に徹底している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育者らは、日頃から他人に対する配慮の気持ちや接し方の模範を示している。	○
	<input type="checkbox"/> 人権に対する子どもの意識を育むよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 課題がある子ども、入居間もない子どもの場合は観察を密にし、個別支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども間での暴力やいじめが発覚した場合は、養育者らが中心になり適切な対応ができるような体制になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 暴力やいじめに対する対応が困難と判断した場合には、児童相談所等に協力を要請するようにしている。	○
②	子どもの問題行動に適切に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> ホームが子どもにとっての癒しの場になるよう配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 問題行動のある子どもについて、あらかじめ養育者らで情報を共有化し、連携して対応できるようにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 問題行動のある子どもの問題となる行動を観察・記録し、誘引や刺激、人的・物的環境との因果関係を分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者らは研修等を通して、問題行動に対する適切な支援技術を習得できるようにしている。	
	<input type="checkbox"/> 問題行動に対して、子どもの心身を傷つけずに対応するための体制を整えている。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じ、児童相談所その他専門機関等と協力し、対応している。	○
<input type="checkbox"/> 周囲の子どもの安全を図る配慮がなされている。	○	
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 子ども同士のいじめや暴力を発見した時には、直ちに止めて双方の意見を聴いたうえで対応しています。また、必要に応じて児童相談所に相談し、子どもの面談を打診することもあります。問題解決については、ひとりの職員が独断で対応しないよう考慮しています。 問題行動の対応など養育上困難なことについては、職員間の協議にとどまることなく、研修の受講などによるスキルの獲得を含めたさらなる実践力の研鑽を期待します。</p>		

2- (7) 自主性、自律性を尊重した日常生活		第三者 評価結果
①	子どもが余暇を有効に活用できるよう配慮している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの興味や趣味に合わせて、自発的活動ができるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども（外国籍の子ども等）の生活文化を保障し、自由に活動ができるようにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 学校のクラブ活動への参加は、本人の希望を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが外部のサークル活動やレクリエーション等に参加することを望む場合、可能な限りそれに応えている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの趣味に応じて、外部の文化・スポーツ活動への参加や習いごとを認めている。	○
	<input type="checkbox"/> 図書・雑誌・新聞等、子どもの要望に応じた出版物を備えて、自由に閲覧できるようにしている。	○
	<input type="checkbox"/> テレビ・ビデオ・ステレオ等オーディオ機器を備え、子どもの健全な発達に考慮したうえで、自由に使用できるようにしている。	○
②	買い物や外出、旅行などは、子どもとともに計画し、実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの趣味や興味にあったイベントになるように子どもの意見を反映させ、適宜変更している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが主体的にイベント等に関わることができる。	○
	<input type="checkbox"/> イベント等に対して自発的な参加を促すよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> イベント等に追われることなく、ゆとりある生活が過ごせるよう配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> イベント等の参画について、子ども一人ひとりの選択を尊重している。	○
③	子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう援助している。	b
	<input type="checkbox"/> 計画的なこづかいの使用等、金銭の自己管理ができるよう援助している。	○
	<input type="checkbox"/> 無駄づかいをやめ、節約したことによる効果が実感できるようなお金の使い方を体験できるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 大人と一緒に買物に行ったり、一人で買物をさせるなど経済観念や金銭感覚が身につくよう援助している。	○
	<input type="checkbox"/> こづかいの用途については、子どもの自主性を尊重し、不必要な制約を加えていない。	○
	<input type="checkbox"/> 一定の生活費の範囲で生活することを学ばせている。	
④	ホームが地域に開かれ子どもが友人や地域との関係を深められるよう支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 学校の友人等がホームへ遊びに来やすいような環境作りに努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 帰宅時間（門限）は、子どもと発達や状況に応じて決めている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域のボランティア活動への参加の機会を設けている。	○
	<input type="checkbox"/> お祭りへの参加など、地域社会での活動や交流会への参加を支援している。	○
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 子どもが興味を持つものや、希望する職業に必要となると思われることなどについては、習いごとに通わせています。 子どもとの買い物や外出、旅行等は、事前に子どもたちと話し合い計画を一緒に考えながら、生活の楽しみの一つとなるよう取り組んでいます。 子どもの小遣いは、小学生までは職員と一緒に管理し、中学生からお小遣い帳を記入させ、高校生は自主的に管理するなど、年齢にあわせた金銭管理を支援しています。また、ボランティアによる金銭支援や買い物の演習など、子どもと交流しながら体験する機会もあります。 学校の友人等がホームへ遊びに来やすいよう中庭に遊具などを配置した環境を提供しています。</p>		

2- (8) 学習支援、進路指導等		第三者 評価結果
①	学習環境を整備し、学力に応じた学習支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 忘れ物や宿題の未提出がないよう把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 辞書・参考書等学習に必要な書籍を用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるように個別スペースや学習机を用意するなど、中学生、高校生、大学受験生のための環境づくりなどについて配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 年齢や理解力に応じて、自分で学習計画が立てられるなど、学習習慣が身につくよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 学校教員と十分な連携をとり、常に子ども個々の学力を把握し、学力に応じた個別的な学習支援を行っている。	○
②	学校との連携により子どもの状況に応じた支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 保護者会に出席する、担任と連絡をとるなどの取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもに関する関係者間での話し合いの場の設定を提案している。	○
③	学校を卒業する子どもの進路について、幅広い選択肢のもと、「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 進路選択に必要な資料を収集し、子どもに判断材料を提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 進路選択にあたって、子どもと十分に話しあっている。	○
	<input type="checkbox"/> 進路選択にあたって、親、学校、児童相談所の意見を十分聞くなど連携している。	○
	<input type="checkbox"/> 早い時期から進路について自己決定ができるよう相談、指導を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 奨学金など進路決定のための経済的支援のしくみについての情報等も提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 就職にあたっては、その前段階において十分な情報提供や相談、指導を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 進路決定後のフォローアップや失敗した場合に対応している。	○	
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>学習環境は、住環境ともあわせ子どもが集中できるよう、時間やテレビの音などに配慮するよう努めています。学校とは日ごろから連携が取れており、子ども一人ひとりの学力の支援や社会性の向上について話し合われています。進学・就職への支援については、学校を中心に、児相、関係機関とケース連絡会等で協議し、子どもの意向を最大限に尊重するような取組が行われています。また、その際にはホーム職員が就職先へ挨拶へ行ったりや子どもの様子を伝えたり、細やかなアフターケアが行われています。</p>		

2- (9) メンタルヘルス		第三者 評価結果
①	虐待を受けた子どもなど心理的なケアを必要とする場合は、心理的な支援ができるよう関係機関と連携している。	b
	<input type="checkbox"/> 心理的な支援を必要とする子どもについて、関係機関と連携した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 日常生活の中で、心理的な支援が行える体制ができている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて臨床心理の専門家から直接的支援を受ける体制が整っている。	○
②	子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性について正しい知識を得る機会を設けている。	b
	<input type="checkbox"/> 年齢、発達段階に応じて、性についての正しい知識、関心が持てるよう支援している。	
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に答えている。	○
	<input type="checkbox"/> 年齢相応で健全な異性とのつきあいができるよう配慮している。	○
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>心理的なケアを必要とする子どもの支援については、定期的に児童相談所の心理司が訪問し面接が行われています。性に関しては、これまでの生活体験などから受け止め方が異なることを配慮し、注意深く見守られています。また、男女の部屋の位置や入浴順等を工夫しています。子どもの発達に応じた性への支援は、その都度個別に話をしています。</p>		

2- (10) 家族とのつながり		第三者 評価結果
①	児童相談所等と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり家族からの相談に応じる体制づくりができている。	a
	<input type="checkbox"/> 家族との関係調整については、定例的かつ必要に応じて児童相談所等と協議を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> ホームと家族が信頼関係を構築できるよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 親との面会に協力するなど、親子関係の継続や修復に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅後の子どもの様子を注意深く観察し、家族からの不適切な関わりの発見に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの日常生活の様子について家族に伝えている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもに関係する学校、地域、ホーム等の予定や情報を、家族に随時知らせている。	○
②	関係機関と連携し、子どもと家族の関係づくりのために面会、外出、一時帰省などの機会を保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 一時帰宅については、児童相談所と連携して行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが家族との交流を希望しない場合には、その意思を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 虐待を受けた子どもなど配慮の必要な子どもについては、児童相談所と十分な連携のうえで行っている。	○
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>支援方針を軸に、ホームと家族が信頼関係が構築できるよう取り組んでいます。子どもの様子については、家族に定期的に連絡したり、手紙を送ったりするなどして生活の状況を伝えています。また、子どもと家族の関係づくりのための面会、外出、一時帰省等は児童相談所と話し合いながら行っています。</p>		